

みんなで作る園の未来!

保育ナビ

2026
MARCH
〈12/12〉

3

特集
園を越えて縁をつなぐ
新しい保育者の
学びの提案

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
保育者の役割
子どもと対話する保育者

エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ
植える植物のこと、
今一度考えてみよう

若手育成のヒントに!
保育者養成校の今

2025年度は、保育と子どものおもしろさを伝え、ワクワクを広げる内容を読者にお届けします。

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

『保育ナビ』は、編集委員がサポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）

浅井幸子（東京大学）

大方美香（大阪総合保育大学）

大豆生田啓友（玉川大学）

北野幸子（神戸大学大学院）

古賀松香（京都教育大学）

境 愛一郎（共立女子大学）

汐見稔幸（東京大学名誉教授）

砂上史子（千葉大学）

松井剛太（香川大学）

無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）

矢藤誠慈郎（和洋女子大学）

敬称略 50音順

編集委員から読者の皆さんへ応援メッセージを月替わりで配信します。詳しくはP.32へ！

『保育ナビ』が伝えたいこと

園を越え、地域を越えて新しいワクワクの保育へ

園内研修に取り組むなかで、手応えとともに、さらに発展させるためのアイデアが欲しいと考えている読者がいるかもしれません。今月の特集では、園を越え、地域を越えて保育者同士が学び合う「創発的協働研修」「保育者交換留学」の取り組みを取り上げています。「越境」することで得られるワクワクする保育の可能性について、園の皆さんとご一緒に探ってみませんか。

——『保育ナビ』編集部

巻頭

主 フレーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

2025年度フレーベル館講演会レポート

主 「愛と勇気と希望のある社会へ～これからの未来を生きる、すべての人へ贈るエール～」開催報告…4
戸田恵子 中園ミホ 山口有紗

特集

園 園を越えて縁をつなぐ
新しい保育者の学びの提案
～2つの挑戦—創発的協働研修(あいまー)と保育者交換留学～…10
境 愛一郎



注目テーマ

リ 保育実践から読み解く
「安心と挑戦の循環」…24
矢藤誠慈郎

園の未来を握るリスペクト型マネジメント
みんながワクワクする
多機能化と地域共創…26
大豆生田啓友

小学1年生の授業を拝見！
～学びを通してつながりを理解する…28
無藤 隆 片岡麻梨子

2026年度告知…30

聞くと視野が広がる
編集委員からのメッセージ…32
矢藤誠慈郎

保育内容

リ 3・4・5歳児
遊びが育つ保育
保育者の役割…34
河邊貴子

0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
子どもの心を豊かに育むために…36
井桁容子

園 保育が変わると計画が変わる
やってみよう！
子どもの姿ベースの
指導計画…38
大豆生田啓友 佐伯絵美

エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ…42
小西貴士 ポール・スミザー

主 保育環境 知らないで損！子どもが育つ
自然遊びが楽しい
園庭づくりのススメ…46
ささき隊長

Information…49

人材育成

若手育成のヒントに！
保育者養成校の今…50
大方美香

リ 職員みんなで考える
保護者支援10のポイント…54
浅井拓久也

国の動き

国の動きを読む！
研究者の目2025…56
大方美香

園経営

持続可能な未来を切り拓く
変化する時代の経営戦略…58
桑戸真二 柳 修二

園 予防のために知っておきたい
事故につながる
12のポイント…60
脇 貴志

エッセイ

保育ナビエッセイ
保育とわたし…62
松井剛太

愛と勇気と

希望のある社会へ

「これからの未来を生きる、
すべての人へ贈るエール」

開催報告

フレール館では、2025年10月24日に

「2025年度フレール館講演会

『愛と勇気と希望のある社会へ』を開催しました。

登壇したのは、アンパンマンの

声を担当する女優の戸田恵子さん、

NHK連続テレビ小説『あんぱん』の

脚本を執筆した脚本家の中園ミホさん、

子どものこころ専門医の山口有紗さんです。

講演会には保育関係者はじめ多くの方が参加されました。

講演内容の一部をご紹介します。

構成／渡辺 悟



講演会
3

山口有紗さん

(小児科専門医、
子どものこころ専門医)



講演会
2

中園ミホさん

(脚本家)



講演会
1

戸田恵子さん

(女優)

新しい

保育者の 学びの提案

園を越えて縁をつなぐ

「2つの挑戦—創発的協働研修（あいまーる）と
保育者交換留学」



あいおい子ども園



立花愛の園
幼稚園



認定こども園 くすの木

Contents

Part 1 はじめに 創発的協働研修（あいまーる）と保育者交換留学について	P.11
Part 2 実践紹介① 創発的協働研修（あいまーる）の取り組み	P.12
Part 3 実践紹介② 保育者交換留学の取り組み	P.16
Part 4 おわりに 園を越えた学び・遊びへと踏み出そう	P.23

監修
境 愛一郎（共立女子大学）
イラスト／斉藤ほほみ

子どもや家庭を取り巻く状況が目まぐるしく変化し、新たな課題や価値観への対応が求められる昨今では、保育者同士が地域や組織といった枠を越えて学び合い、これからの保育や暮らしのあり方を創造していくことが重要です。越境へのチャレンジがひらく、保育者の新しい学びのかたちを探究します。

1

創発的協働研修(あいまーる)と 保育者交換留学について

保育者
交換留学

あいまーる
Okinawa



コスモストーリー
こども園



地域や組織の境界を越えた 挑戦で深まる学び、広がる保育の輪

境 愛一郎(共立女子大学)



境 愛一郎(さかい あいいちろう) / 共立女子大学家政学部 准教授。研究テーマは、保育環境の「境の場所」、保育実践研究の方法論など。『空間・時間・人を広げる 保育環境の構成: これまでの枠を超えれば「ワクワク」がみえてくる』(中央法規出版/編著) など、著書多数。

突然ですが、皆さんは知らない土地を旅したことはありませんか。旅先で出合う風景、人々の営み、文化やテクノロジーなどは、私たちに新しい視点や発想、世界の広がりをもたらしてくれまます。同時に、当たり前化していた故郷の豊かさや特色に気付くきっかけとなり、日常を前向きに楽しむ活力を与えてくれます。

昨今、子どもや地域社会を巡る状況はますます複雑多様化しています。保育者には、従来の資質・能力だけでなく、あらゆる立場・分野の人と協働で地

域社会を構築していく力、新たなアイデアやツールを取り入れ柔軟に実践を構想していく力、現場にイノベーションを起こしていく力などが求められています。また、このような時代だからこそ、自分たちの土台となっているものを見つめ直したり、支え合い学び合える同志を広く募ったりすることも大切です。

以上のような学びやつながりを得るためには、旅をするように学ぶことが有効と考えられます。旅に近い性質をもつ保育者の学びとしては、園外研修や公開保育、研究大会、園外と園内の研

修を有機的に結びつけた往還型研修などが見られます。しかし、さらに一歩外に踏み出し、地域や組織の境界を越えて学びを深め、保育の輪を広げようとする新たなチャレンジも生じています。本特集では、異なる地域の保育者・研究者が集い、語り合うことで新たな価値観や活動を創発していく「あいまーる」の事例、北海道と沖縄の間で行われた「保育者交換留学」の事例を紹介いたします。園を越えて、縁をつなぐ、新たな保育者の学びを探す旅に出発しましょう。

「子ども主体の保育」を深める

保育内容 INDEX

保育と
子どもの
おもしろさを伝え
ワクワクを
広げる

「子ども主体の保育」を進めるうえで役に立つ保育実践の知識や考え方、発想、スキルについての記事を掲載しています。ご自身や自園の保育に使える部分を試してみる、園内で共有するなどして、ワクワクを広げていきましょう。

P.34

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
保育者の役割

子どもと対話する保育者

P.36

0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
子どもの心を豊かに育むために

家族のすてきな物語

P.38

保育が変わると計画が変わる
やってみよう！
子どもの姿ベースの指導計画

おわりに
計画の見直しとその影響

P.42

エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ

植える植物のこと、
今一度考えてみよう

P.46

保育環境
知らないと損！ 子どもが育つ
自然遊びが楽しい
園庭づくりのススメ

ばった はらっぱ

PICK UP!



子どもの姿ベースの指導計画にチャレンジするためには子どもの姿を知ろうとすることが必須になります。「自園の1歩」はどこからなら出せそうか、考えてみましょう。

PICK UP!



せっかくすてきな花壇ができて、毎年一年草を植えては豊かな森の縮図のような庭にはなりません。今回は、植える前に植物のことを立ち止まって考えてみましょう。

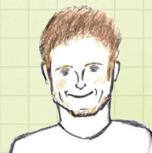
エコロジカルな園庭へ 再生のための実践ゼミ

第10回 植える植物のこと、今一度考えてみよう

環境教育やESD（持続可能な地球の創り手を育むための教育）の実践者であり森の案内人の小西貴士さんがナビゲーターとなり、これからの時代の園庭環境のあり方を考えます。園庭づくりの実践については、ランドスケープデザイナーのポール・スミザーさんと共に具体的なアイデアを紹介します。



企画・執筆 小西貴士
(森の案内人・くうたら村共同代表)



ポール・スミザー
(ランドスケープデザイナー)

せっかくすてきな花壇ができて、ヒマワリやパンジーなど、毎年一年草を植えては耕すことのくり返し。これでは豊かな森の縮図のような庭にはなりません。今回は、植える前に植物のこと、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。

ランドスケープデザイナー ポールさんの視点

好き嫌いでなく、うまくいく植物を選ぼう

園庭に花壇も整って、いよいよ植栽です。さあ、どんな植物を植えましょうか。お好きなものをどうぞご自由に！ と言いたいところですが、それでうまくいっていない園も多いでしょう。成功の秘訣は、そう！ うまくいく植物を選ぶこと。まずは、だれが植えても丈夫で元気に活躍してくれる植物を植えることにこだわってみましょう。

自然は、剥き出しの地面があれば、必ず植物がそこを覆おうとします。土砂崩れや山火事後、土中の種が発芽し、植物が地面を埋め尽くしていきます。植物の種類は段階的に入れ替わり、樹木が生長し、最終的には森になっていきます。

私が考える、園の理想の花壇のイメージは、山火事後から5～6年経った、森に囲まれた明るい草原の段階です。花や実がいちばん豊富で多種多様な生き物が育つ環境です。バラやウツギ、ハギ、ヤマブキなどの低木や、ナデシコ、オミナエシ、キキョウ、フジバカマなどの多年草が美しい景色をつくり、そこに様々な生き物が訪れ、季節の移ろいを感じることができます。

今まで様々な環境下で庭をつくってきた経験から、最初に花壇を迎える頼りになる植物はいくつも頭に浮かびますが、皆さんがいちばん手取り早く、確実にそんな植物を知る方法は、近所で元気によく育っている植物を調べることです。園庭の日当たりや水はけ具合を念頭に置いて、まずは近所を散策してみるのもいいでしょう。

「各園での庭づくりの実践から見えてきたこと」ダウンロード資料はこちら→



園庭を豊かな森のような庭にするために、 植える植物を選ぶポイント

① 1年で終わらず毎年出てくる植物に目を向けよう

保育者養成校の学生たちに、園の花壇に植えたらいいなと思う植物を尋ねてみると、一年草の名前ばかりが出てきます。その大きな理由は、自分たちが体験してきた園や学校の花壇がそうだったからだと思います。一年草が決して悪いわけではありませんが、1年が終わったら枯れた植物を掘り起こして地をならしてまた植えるというのは、森では毎年土砂崩れが起きているところと言えます。そういう場所では、土中の生物の多様性が進まず、その場所に生きられる生命の種類が限られます。また、毎年苗を買うことで、苗ポットなどの廃棄物が増えます。一方で、多年草を多く植えることで、花壇の土中の環境はもちろん、そこに生きる生命の種類や数は年を重ねるごとに豊かになります。また、多年生のため毎年買わなくてもよいばかりでなく、年々大きな株になってゆく植物は株分けや挿し木をして増やしたり、落ちた種子から自然に発芽したりして増えることも多いのです。

〈例えば、こんなプランはいかが？〉

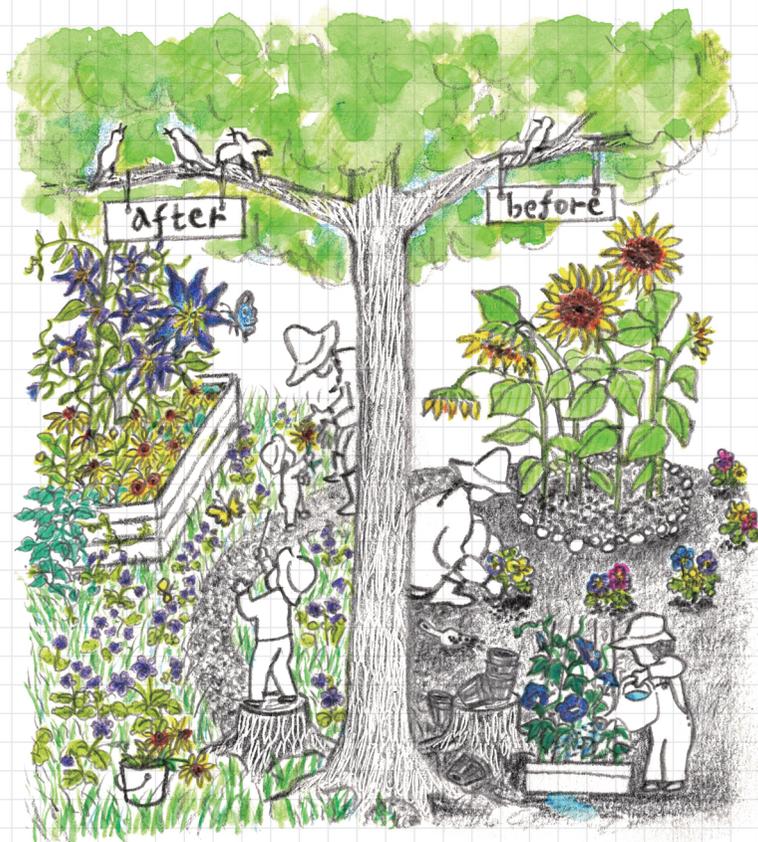
Before

ヒマワリ
マリーゴールド
パンジー
サルビア
アサガオ



After

ヘレニウム
ルドベキア
多年生のスマレ
多年生のサルビア
クレマチス



② 初めは手がかからない強い植物を迎え入れよう

園は幼い人たちが暮らすところ。ついつい、植物をちぎったり、折ったり、踏んでしまうことはよくあること。特に、植物の勢いが弱かったり、数も少なかったりする花壇を作りたての頃は、そのような子どもたちの遊びの場で、せっかく植えた植物が絶えてしまうこともあります。その時期をちゃんと超えてゆけるように、初めはまず、強くて手がかからない植物を中心に迎え入れましょう。その植物がしっかりとそこに根ざしたら、その間や陰で、少し弱い植物たちも安心して育てられます。

〈例えば、初めはこんな子たちを迎え入れてはいかが？〉

ブッドレア、ナツグミ、チェリーセージ、シモツケ、アガパンサス、ペンステモン、ルドベキア
ゴールドスターム

アガパンサス

放っておいてもいつも元気な細長い葉っぱと紫や白のおしゃれな花が楽しめます。

ブッドレア

秋の終わりまで次々に咲きつづける花にはたくさんのチョウが集まります。

チェリーセージ

春から初冬までたくさんの花をつけ、明るさ、賑やかさを感じることができます。

ルドベキア ゴールドスターム

小さなひまわりのような花が無数につき、冬の枯れ姿も楽しむことができます。



〈ここに注意！〉

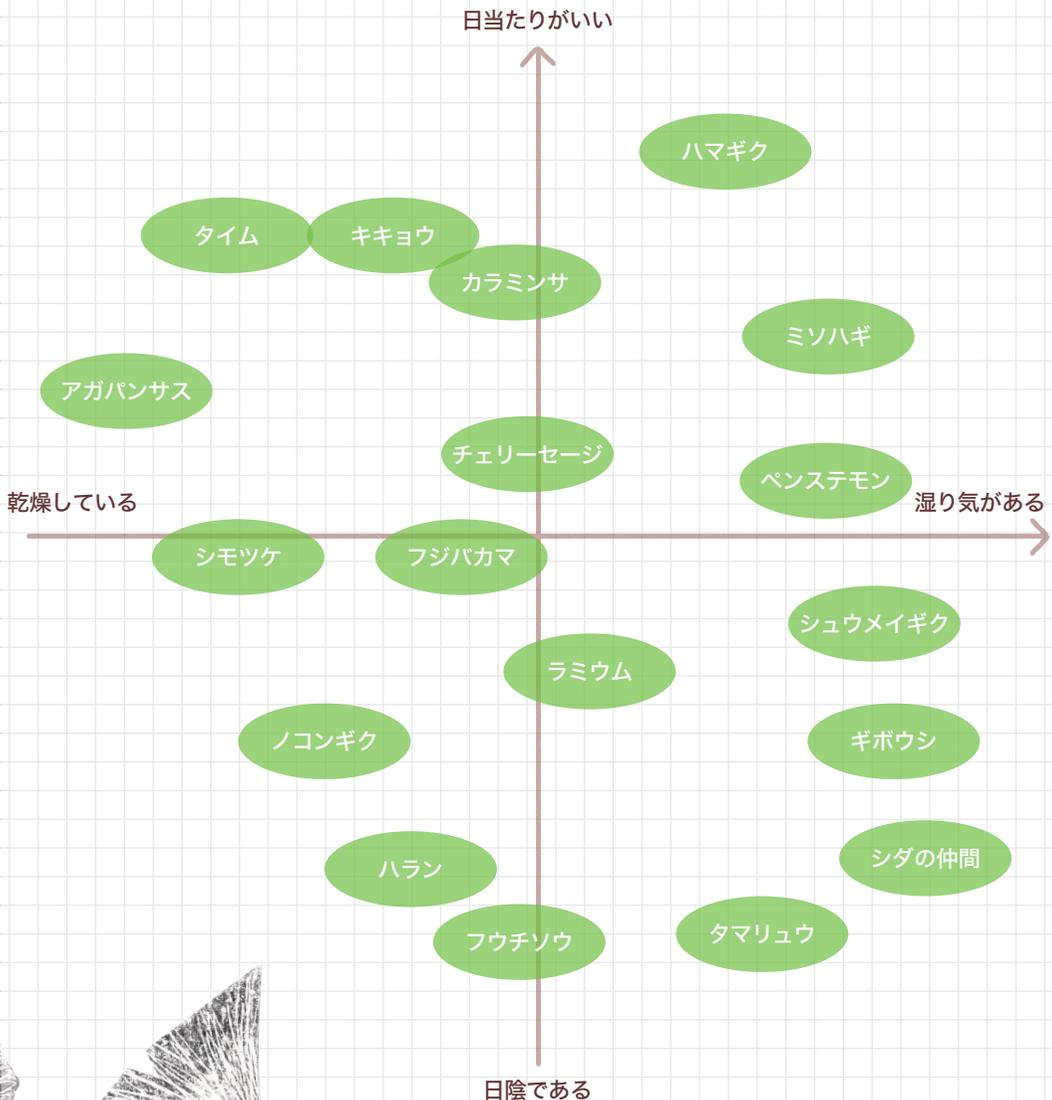
ミントの仲間など、広がりすぎて後で手に負えなくなるような植物を迎え入れるのは慎重に。いろいろな種類を1株ずつではなく、なるべくたくさん、まとめて植えよう。見映えがするだけでなく、お互いが支え合って元気に育つ。

③ 環境に合う植物を選ぼう

この花が美しいから植えたい、食べられる実のなる木を植えたい、チョウがたくさん来るような植物を植えたい……。いろんな想いはあるけれど、森ではその環境に合わないものが生き生きと生きてゆくことは難しいことを思い出してほしいのです。

木であれ草であれ、その植物に合わない環境に植えるということは、ヒトにたとえればその地の気候に合わない服装でその環境に居るようなもの。ダウンジャケットを着込んで熱帯雨林で行動したり、ノースリーブのワンピースで氷点下の吹雪の中で行動したりすることを想像してみてください。この服を着てみたいという想いだけではなくて、その環境で最も心地よく生きてゆけそうな服を選ぶ、そんなふうにしてその環境に合った植物を選ぶことをやってみましょう。

〈例えば、こんなふうを選んでみよう〉



『保育ナビ』編集部からのお知らせ

公式サイトや SNS で保育最新情報をチェック!

『保育ナビ』は公式サイト や SNS でも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報のためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト



YouTube



Facebook



Instagram



保育ナビ

2026年度も『保育ナビ』で園づくりの「答え」が見つかる!

- ① 3要領・指針改訂の動きに対応
- ② 社会の変化をキャッチする
- ③ 「保育の当たり前」を捉え直す

2026年度の企画の一部をご紹介します

詳細は、本誌 P30~31へ!



月刊保育雑誌『保育ナビ』
定価 1,200円 (本体 1,091円 + 税 10%)
B5判 64ページ

フレーベル館営業担当者からの直接購入者限定*!

『保育ナビ』年間購読者特典

2026年度『保育ナビ』(4月号~3月号)を年間購読すると、2つの特典があります。



詳細はこちら!

* フレーベル館の営業担当者からの直接購入に限ります。フレーベル館の貴園の担当営業までお問い合わせください。担当者がわからない場合は、Tel 03-5395-6608 (フレーベル館営業支援チーム) へご連絡ください。

年間購読特典 1 大豆生田啓友先生と佐伯絵美先生による「子どもの姿ベースの指導計画」解説動画!

指導計画・記録の見直しのポイントを約10分×12回で紹介。スペシャルメッセージ付き。
(2025年度『保育ナビ』連載の動画を中心にまとめたものです。解説動画は2027年3月31日までの期間限定公開です)



年間購読特典 2 園で役立つ! 感染症まるわかりBOOK(仮) 監修/森庸祐(森医院こどもクリニック)

3つの特長

- 1疾患 = 1ページでわかりやすく解説。
- チェックリストで初動の見通しが立つ。
- 園で何をすべきか&保護者にどう伝えるかがわかる。

●監修者プロフィール

森 庸祐 (もり ようすけ)
医学博士。帝京大学医学部卒業、帝京大学大学院医学研究科終了。帝京大学医学部附属病院小児科助手、国際医療福祉大学附属熱海病院小児科講師を経て平成17年12月、森医院こどもクリニック開院。日本小児科学会認定・小児科専門医、芸術と遊び創造協会認定・おもちゃコンサルタントマスター。



保育セミナー

フレーベル館では、2026年度も様々なテーマでセミナーを実施しています。『保育ナビ』執筆陣によるセミナーも多数あります。誌面とあわせてご活用ください。

セミナーの最新情報は
こちらから



<https://seminar.froebel-kan.co.jp/>

【問い合わせ先】 株式会社フレーベル館 セミナー事務局 メール: seminar@froebel-kan.co.jp 電話: 03-5395-6637